



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日

上場会社名 株式会社栗本鐵工所 上場取引所 東
 コード番号 5602 URL https://www.kurimoto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊本 一高
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室長 (氏名) 大野 博史 (TEL) 06-6538-7719
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	91,481	19.5	5,503	124.4	5,531	119.2	3,827	138.2
2022年3月期第3四半期	76,581	△11.9	2,452	△38.5	2,523	△33.5	1,607	△36.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,281百万円(215.7%) 2022年3月期第3四半期 1,673百万円(△62.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第3四半期	円 銭 313.58	円 銭 —
2022年3月期第3四半期	131.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第3四半期	百万円 149,165	百万円 71,976	% 47.4
2022年3月期	139,722	67,619	47.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 70,641百万円 2022年3月期 66,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 70.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	11.4	6,000	43.8	6,000	43.6	4,200	43.9	344.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,098,490株	2022年3月期	13,098,490株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	889,445株	2022年3月期	896,195株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	12,205,268株	2022年3月期3Q	12,197,919株

発行済株式数に関する注記

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2023年3月期3Q42,822株、2022年3月期3Q15,894株、2022年3月期15,894株)が含まれています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響の中、政府による行動制限緩和等により景気回復が期待されましたが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、為替相場の変動、資源価格の高騰や物価上昇の拡大により、経済情勢は不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じ、製品の安定的な生産・供給を行いながら、コストダウン活動や営業活動の強化を進め、企業価値の更なる向上に向けて事業活動を行ってまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、「ライフライン事業」「機械システム事業」「産業建設資材事業」とともに売上高が増加し、前第3四半期連結累計期間比14,899百万円増収の91,481百万円となりました。

損益面では、売上高増加に伴う増益などにより、営業損益は、前第3四半期連結累計期間比3,050百万円増益の5,503百万円の利益、経常損益は、前第3四半期連結累計期間比3,008百万円増益の5,531百万円の利益、親会社株主に帰属する四半期純損益は、投資有価証券売却益、法人税等を計上し、前第3四半期連結累計期間比2,220百万円増益の3,827百万円の利益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

「ライフライン事業」は、売上高につきましては、パイプシステム部門、バルブ部門において売上高が増加したことなどにより、前第3四半期連結累計期間比1,817百万円増収の45,111百万円となりました。

営業損益につきましては、原材料価格の高騰もありましたが販売価格の改定による影響もあり、パイプシステム部門、バルブ部門がともに増収となり、前第3四半期連結累計期間比687百万円増益の2,777百万円の利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門において新型コロナウイルス感染症による一時的な投資の手控えからの回復の影響もあり粉体機器、プレス機器の売上高が増加したことなどにより、素形材部門においては破碎機、鋳物部品の売上高が増加したことなどにより、前第3四半期連結累計期間比10,010百万円増収の24,648百万円となりました。

営業損益につきましては、機械部門が大幅に増収となった影響などにより、前第3四半期連結累計期間比2,066百万円増益の1,739百万円の利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門において空調製品、消音製品の売上高が増加したことなどにより、化成品部門においては下水道向け製品やFRP製検査路の売上高が増加したことなどにより、前第3四半期連結累計期間比3,072百万円増収の21,721百万円となりました。

営業損益につきましては、原材料価格の高騰の影響もありましたが、建材部門、化成品部門がともに増収となった影響などにより、前第3四半期連結累計期間比407百万円増益の1,056百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権が増加したことなどで、前連結会計年度末比9,443百万円増加の149,165百万円となりました。

負債におきましては、支払手形及び買掛金、電子記録債務が増加したことなどで、前連結会計年度末比5,086百万円増加の77,189百万円となりました。

純資産におきましては、配当金の支払い、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増減などにより、前連結会計年度末比4,356百万円増加の71,976百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、最近の動向を踏まえ、2022年10月31日に公表しました業績予想を以下のとおり修正いたします。

売上高におきましては、主として機械システム事業にて売上高が増加し、前回発表の予想を上回る見込みであります。

利益面におきましては、売上高の増加に伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも、前回発表の予想を上回る見込みであります。

2023年3月期の通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2022年10月31日発表)	115,000	5,000	5,000	3,700	303.12
今回修正予想(B)	118,000	6,000	6,000	4,200	344.09
増減額(B-A)	3,000	1,000	1,000	500	—
増減率(%)	2.6	20.0	20.0	13.5	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	105,954	4,172	4,179	2,917	239.17

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,358	22,054
受取手形、売掛金及び契約資産	35,482	39,598
電子記録債権	8,964	11,681
商品及び製品	9,736	11,708
仕掛品	8,575	7,909
原材料及び貯蔵品	3,650	3,888
その他	1,507	1,642
貸倒引当金	△126	△144
流動資産合計	89,149	98,338
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,787	13,787
その他(純額)	18,737	18,623
有形固定資産合計	32,525	32,410
無形固定資産		
その他	1,773	1,511
無形固定資産合計	1,773	1,511
投資その他の資産		
投資有価証券	11,526	12,891
その他	4,831	4,094
貸倒引当金	△83	△79
投資その他の資産合計	16,274	16,905
固定資産合計	50,573	50,827
資産合計	139,722	149,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,104	18,359
電子記録債務	13,556	17,444
短期借入金	22,250	21,160
1年内返済予定の長期借入金	1,222	667
未払法人税等	426	1,051
引当金	2,482	1,456
その他	6,804	7,269
流動負債合計	61,846	67,409
固定負債		
長期借入金	714	399
引当金	20	13
退職給付に係る負債	8,830	8,714
その他	690	652
固定負債合計	10,256	9,780
負債合計	72,102	77,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,873	6,873
利益剰余金	27,029	29,928
自己株式	△1,802	△1,778
株主資本合計	63,287	66,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,256	4,265
繰延ヘッジ損益	1	△2
為替換算調整勘定	44	330
退職給付に係る調整累計額	△247	△161
その他の包括利益累計額合計	3,054	4,431
非支配株主持分	1,277	1,335
純資産合計	67,619	71,976
負債純資産合計	139,722	149,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	76,581	91,481
売上原価	58,583	69,720
売上総利益	17,997	21,761
販売費及び一般管理費	15,544	16,257
営業利益	2,452	5,503
営業外収益		
受取配当金	168	197
その他	222	236
営業外収益合計	391	434
営業外費用		
支払利息	114	115
固定資産撤去費用	69	114
その他	135	176
営業外費用合計	320	406
経常利益	2,523	5,531
特別利益		
投資有価証券売却益	-	70
災害損失引当金戻入額	0	-
その他	-	1
特別利益合計	0	71
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	-	2
減損損失	41	-
その他	14	-
特別損失合計	56	2
税金等調整前四半期純利益	2,467	5,601
法人税、住民税及び事業税	233	1,374
法人税等調整額	476	321
法人税等合計	710	1,696
四半期純利益	1,756	3,904
非支配株主に帰属する四半期純利益	149	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,607	3,827

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,756	3,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△240	1,008
繰延ヘッジ損益	△0	△3
為替換算調整勘定	70	285
退職給付に係る調整額	87	86
その他の包括利益合計	△83	1,376
四半期包括利益	1,673	5,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,523	5,204
非支配株主に係る四半期包括利益	149	77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフライン事業	機械システム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	43,293	14,638	18,649	76,581	—	76,581
セグメント間の内部売上高 又は振替高	77	83	12	173	△173	—
計	43,370	14,721	18,662	76,754	△173	76,581
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,090	△326	648	2,412	40	2,452

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額40百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額130百万円及び棚卸資産の調整額△103百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調整額」において、賃貸用資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において41百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフライン事業	機械システム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	45,111	24,648	21,721	91,481	—	91,481
セグメント間の内部売上高 又は振替高	86	66	33	186	△186	—
計	45,197	24,714	21,755	91,667	△186	91,481
セグメント利益	2,777	1,739	1,056	5,573	△70	5,503

(注) 1 セグメント利益の調整額△70百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額△61百万円及び棚卸資産の調整額△25百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。